

御父の家の中で——キリストの死と復活を通して、  
わたしたちのために用意された場所の中で生きる

主題と重要な御言葉	
～へと信じ、へと入る	ヨハネ 14:1 あなたがたは… <b>神の中へと信じ</b> 、また <b>わたしの中へと信じ</b> なさい
父の家の中で	ヨハネ 14:2 <b>わたしの父の家</b> には <b>多くの住まい</b> がある
わたしたちのために場所を用意する	ヨハネ 14:2…わたしは… <b>あなたがたのために、場所を用意しにいく</b>
キリストの死と復活を通して	ヨハネ 14:3 わたしが <b>行って</b> 、あなたがたのために場所を用意したなら、 <b>再び来て</b> 、あなたがたを <b>わたし自身に迎える</b> 。

### アウトラインの概要、流れ

御父の家の中で——キリストの死と復活を通して、わたしたちのために用意された場所の中で生きる		
I	神の中へと信じ、 神の中へと <b>入る</b>	A 神の中へと信じることは主観的です
		B 神の中へと入る
		C わたしたちは神と一となる
II	御父の家の <b>建造</b> (父の家は有機体)	父の家 A ①神の地上での住まい(宮)、②イエスの体の予表
		B ③キリストのからだの召会
		C ④神性と人性の合併
		D 御父の家には多くの住まいがある
		E 行って、わたしたちのために場所を用意する
		建造の道 F 主の来ることと行くことを通して
		G キリストは召会を建造しつつある
		H 三一の神が絶えず訪れることによって
		I 父の家の三段階(肉体と成った、召会となった、新エルサレム、の段階)
III	御父の家、すなわち 召会は <b>父なる神の中</b> にある	A 神がわたしたちに対して御父となる必要がある (御父と命の関係を持つ)
		B 御父は唯一の源である
IV	御父の家としての召会 の中で生きることの 内在的な意義	享受と供給 A 命としての三一の神の中で生きる
		B 光の中で生きる
		C 復活の中で生きる
		D 恵みと実際の中で生きる
		E 神聖な栄光の中で生きる
		生活と実行 F 祈りと礼拝の家(宮)の中で生きる
		G 牧養の生活を生きる
		H 神の建造の中で、神の建造のために生きる
		I 一を守るために、究極的に完成された霊の神聖で奥義的な領域の中で生きる
		J 神性と人性の合併の中で生きる

### まとめ

キリストがわたしたちのために用意された場所で生きる

キリストの中で生きる	彼が現れ、訪れてくださる生活を愛する
御父の中で生きる	彼を命と源として生活する
からだの中で生きる	祈りと、主の羊を牧養する生活をする

## メッセージ 11

御父の家の中で——キリストの死と復活を通して、  
わたしたちのために用意された場所の中で生きる

聖書：ヨハネ 14:1-3, 6, 10-11, 20, 23. 1:4, 14, 16. 11:25

### 神の中へと信じ、神の中へと入る

I. ヨハネ第 14 章の中心思想は、わたしたちが神の中へと信じ、それによって神の中へと入らなければ  
ならないということです——ヨハネ 14:1 :

**\*神の中へと信じることは、主観的であり、**

A. 神を信じることは客観的ですが、**神の中へと信じることは主観的です**。主観的に信じることは、  
わたしたちを神の中へともたします。

**\*神の中へ入ることであり、**

B. 主の中へと信じることによって、わたしたちは**彼の中へと入って彼と一になり**、彼を享受し、彼  
がわたしたちのために完成したすべてにあずかります——3:15。

**\*神と一となることです**

C. キリストの中へと信じることを通して、わたしたちは彼と有機的な結合を持ち、わたしたちの存  
在は彼の中へと浸し込まれて、**両者は有機的に一となります**——15:4-5。

### 御父の家の建造

II. 御父の家とは、三一の神が(肉体と成ること、十字架、復活を通して)ご自身を信者たちの中へと造り  
込み、完全に彼らとミングリングされ、彼らを建造して一つの有機体とならせ、彼の住まい、また表現  
とすることです——ヨハネ 14:2-3, 23 :

#### \*御父の家の四方面の意義

一神の住まい(宮)、イエスの体、キリストのからだとしての召会、神性と人性の合併

A. 第 2 章 16 節の「わたしの父の家」は**地上での神の住まい、宮**を指しています。宮は**イエスの体**の  
予表、あるいは象徴であり、この体は復活の中で拡大されてキリストのからだとなりました——  
19-22 節。

B. 第 14 章 2 節の「わたしの父の家」は、**キリストのからだ、すなわち神の家としての召会**です——  
エペソ 1:22-23, 2:21-22, I テモテ 3:15。

C. 御父の家とは、手順を経て究極的に完成された神と、彼の贖われ、再生され、造り変えられた選  
びの民とで構成された、**神性と人性の合併**です——ヨハネ 14:20。

#### \*御父の家には多くの住まいがあります

D. 御父の家には多くの住まいがあります——2 節 :

1. **多くの住まい**はキリストのからだの**多くの肢体**であり、この**からだは神の宮**です——ローマ  
12:5. I コリント 3:16-17。

2. キリストにあるすべての信者は、神の建造(御父の家)における住まいです。この建造はキリ  
ストのからだです——エペソ 1:22-23, 2:21-22, 5:30. I コリント 12:27。

#### \*主は行って、わたしたちのために場所を用意する——用意された場所で生きる

キリストの中で、父なる神の中で生きる⇒⇒キリストのからだの中で生きる

E. 「あなたがたのために、**場所を用意しに行く**」ことが意味するのは、**主が場所を用意し、贖いを  
完成し、道を開き、立場を作って、わたしたちを神の中へと入らせる**ということです——ヨハネ  
14:2-3, 6 :

**\*キリストの中で、また父なる神の中で生きる**

1. 主イエスは死と復活によって、**道を整え、場所を用意**して、わたしたちが**神の中へともたさ  
れるようにしました**——20 節。

2. 彼はご自身の死と復活によって、わたしたちのために**神の御前で、また神の中で立場を用意し  
ました**。このようにして、彼はわたしたちのために**神の中に場所を用意しました**——2-3, 6 節。

**\*キリストのからだの中で生きる**

3. **神の中にある立場は拡大されて、キリストのからだの中にある立場となります**——ローマ 12:4-

5. エペソ 5:30. I コリント 12:27 :

- a. 神の中に立場、場所を持っていない者はだれも、キリストのからだ、すなわち御父の家、神の住まいの中に場所を持っていません——エペソ 1:22-23. 2:21-22。
- b. わたしたちはみなキリストにある信者として、神の中に場所を持っており、またからだの中に場所を持っており、今やキリストの死と復活を通してわたしたちのために用意された場所の中で生きるべきです——ヨハネ 14:2-3, 20. I コリント 12:27。

### **F-I, 御父の家を建造する道**

#### **\*主は行くことと来ることを通して神の家を建造します**

F. 主が来ることは神を人の中へともたしました。そして、主が行くことは人を神の中へともたしました。この来ることと行くことによって、主は、神を人の中へと建造し人を神の中へと建造することによって、神の家を建造します——ヨハネ 1:14. 10:10 後半. 14:2-3。

#### **\*キリストは召会を建造しつつある**

G. 神の御子、主イエス・キリストは、その霊により、また彼の死と復活を通して、有機体、召会を建造しつつあり、それは彼のからだまた御父の家であって、三一の神と彼の選ばれ贖われた人とのミングリングによって生み出されます——7-24 節。

#### **\*三一の神が絶えず訪れることによって建造される**

H. 御父の家は、御父と御子とその霊と共に、贖われた選びの民を絶えず訪れることによって建造されます——23 節。

#### **\*御父の家には三つの段階があります**

I. 御父の家には三つの段階があります。それは、神が肉体と成った段階、キリストと彼の信者たちが共に復活させられ建造されて召会となった段階、究極的完成の段階、すなわち新エルサレムです——ヨハネ 2:19-21. 啓 21:2-3, 9-10。

### **御父の家、召会は父なる神の中にある**

III. 御父の家、すなわち召会は父なる神の中にあります——ヨハネ 14:2, 20. I テサロニケ 1:1. II テサロニケ 1:1 :

#### **\*御父と命の関係を持つ必要があります**

- A. 召会が父なる神の中にあるためには、神がわたしたちに対して御父とならなければならず、またわたしたちが神と命の関係を持つ必要があります——ヨハネ 20:17 :
  1. 新約では、「御父」は命の源を示しています——5:26。
  2. 「神」という称号は創造を指しています。「御父」という称号は命の分け与えと命の増殖を指しています——I ヨハネ 3:1。
  3. 神はもはや、わたしたちの創造主であるだけではありません。神はわたしたちの御父、わたしたちを生んだ方でもあります。なぜなら、神はご自身の命をもってわたしたちを生んだからです——ヨハネ 1:12-13。
  4. わたしたちが神をわたしたちの御父と呼ぶことができるのは、わたしたちが彼から生まれたからであり、そして今では神の子供たちとして彼と命の関係を持っているからです——ローマ 8:15-16。
  5. 主は、ご自身の命を解き放つ死と命を分け与える復活を通して、わたしたちをご自身と一にしました。主の御父は今や、わたしたちの御父です——ヨハネ 20:17。
  6. 主イエスは、ご自身の死と復活によって、わたしたちをご自身の中へともたしました。主イエスは御父の中にいるので、わたしたちは彼（主イエス）の中にいることによって御父の中にいます——14:20。

#### **\*御父は唯一の源です**

B. 召会が父なる神の中にあるということは、召会が唯一の源である方、すなわち発起者また開始者の中にあるということを意味します——I コリント 8:6 :

1. 神を御父として認識することは、あらゆるものが彼から生じて、あらゆるものが彼から出て来ることを認識することです——マタイ 15:13. ローマ 11:36。

2. 御父は召会生活の中で唯一の源であるべきであって、わたしたちはみな彼の唯一の定められた御旨とご計画の中にいるべきです——Ⅱテモテ 1:9. ローマ 8:28。

### 御父の家としての召会の中で生きることの内在的な意義

Ⅳ. わたしたちは、御父の家としての召会の中で生きることの内在的な意義を見る必要があります——ヨハネ 14:2-3, 23:

#### A-E 御父の家で生きることの享受と供給

- A. 御父の家としての召会の中で生きることは、命としての三一の神の中で生きることです——1:4. 5:26. 6:53. 11:25. 14:6。
- B. 御父の家としての召会の中で生きることは、光の中で生きることです——1:4. 8:12。
- C. 御父の家としての召会の中で生きることは、復活の中で生きることです——11:25。
- D. 御父の家としての召会の中で生きることは、恵みと実際の中で生きることです——1:14, 16-17. 14:6. 16:13。
- E. 御父の家としての召会の中で生きることは、神聖な栄光の中で生きることです——17:22-23。

#### F-J 御父の家で生きることの生活と実行

- F. 御父の家としての召会の中で生きることは、祈りと礼拝の家の中で生きることです——14:13. 15:7, 16. 16:23-24. 4:23-24。
- G. 御父の家としての召会の中で生きることは、牧養の生活を生きることです——10:10-11, 15-17. 21:15-17。
- H. 御父の家としての召会の中で生きることは、神の建造の中で、神の建造のために生きるです——2:19-21. 14:23。
- I. 御父の家としての召会の中で生きることは、一を守るために、究極的に完成された霊の神聖で奥義的な領域の中で生きることです——7:39. 14:16-20. 16:13. 17:11, 21, 23。
- J. 御父の家としての召会の中で生きることは、手順を経て究極的に完成された三一の神と、贖われ再生された三部分から成る信者たちとの、神性と人性の合併の中で生きることです——14:10-11, 20。

朝ごとの食物

御父の家の中で——キリストの死と復活を通して、わたしたちのために用意された場所の中で生きる				
日	段落	思想、流れ	主題	要点
1	御父の家	神(父の家)の中へと入る	神の中へ信じ、神(御父の家)の中へと入る	神の中へと信じ、神の中へ入る必要があります 御父の家の四方面の意義
2		多くの住まい	御父の家の中には多くの住まいがある	多くの住まいとはキリストのからだの多くの肢体 主が行かれることは、わたしたちのために神の中で場所を用意されるためです
3		用意された場所	主がわたしたちのために用意された場所の中で生きる	キリストの中で、また御父の中で生きる キリストのからだの中で生きる
4		住まいを造る(建造の道)	三一の神が彼の愛する信者たちと共に住まいを造る	神聖と人性のミングリングの中で御父の家を建造する 三一の神が信者たちと共に、神の住まいの建造のために、住まいを造る
5	父神	父なる神の中にある	御父の家、召会は、父なる神の中にある	召会は父なる神の中にあり、神と命の関係を持つ 召会は父なる神の中にあり、父が唯一の源である
6	生きる	御父の家の中で生きる	御父の家としての召会の中で <u>生きる</u> ことの内在的な意義	御父の家の享受と供給の中で生きる 御父の家の生活と実行の中で生きる